平成 21 年４月 14 日

各　位

会　社　名　　株式会社シイエム・シイ
代 表 者 名　　代表取締役社長　龍山　真澄
（ＪＡＳＤＡＱ・コード２１８５）
問 合 せ 先
役職・氏名　　常務執行役員
経営企画室担当　田島　龍司
TEL（052）322－3386

平成 21 年９月期第２四半期累計期間（連結・個別）業績予想との差異に関するお知らせ

平成 20 年 12 月４日に公表いたしました平成 21 年９月期第２四半期累計期間（平成 20 年 10 月１日～平成 21 年３月 31 日）の連結業績予想および個別業績予想の差異について、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．連結業績予想との差異

平成 21 年９月期第２四半期累計期間（平成 20 年 10 月１日～平成 21 年３月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回予想（A）	7,170	694	706	435
今回予想（B）	6,942	1,078	1,080	637
増減額（B－A）	△227	384	373	201
増減率（%）	△3.2	55.4	52.9	46.2

２．個別業績予想との差異

平成 21 年９月期第２四半期累計期間（平成 20 年 10 月１日～平成 21 年３月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回予想（A）	6,193	646	669	413
今回予想（B）	6,033	1,061	1,072	631
増減額（B－A）	△160	414	402	218
増減率（%）	△2.6	64.1	60.2	52.8

３．差異の理由

マーケティング事業においては、取扱説明書や修理書の企画・編集・制作業務を行うカスタマーサポート・マーケティングで業績予想時に不確定であった計画外物件の受注や既受注物件での追加受注が大きく増加したものの、各種教育や販売促進を支援するインターナルおよびエクスターナル・マーケティングで受注が減少したこと等により、売上高は計画比減少しました。また、システム開発事業においても、主要顧客向けの受注が減少し売上高は計画比減少しました。一方、利益面につきましては、従来より利益率の高いカスタマーサポート・マーケティングの売上が計画比増加したことに加え、原価低減努力が功を奏したこと等により大幅な増加となりました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、今後の市場動向や当社グループの業績動向を踏まえて、見直しが必要である場合には速やかに開示いたします。

※上記の修正予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以　上